

郭1 (本郭) 東腰郭石垣※



▲ 本郭東腰郭石垣位置 (赤丸部分)

斜面に盛土して腰郭を造成し、正面と両側面に石垣を普請しています。現況で高さが3.5m程あり大福寺方面から登ると郭3の石垣と合わせて両側から威圧するように城正面を化粧しています。往時は山麓からも見渡すことができたようです。石垣の石材は、地山に由来する結晶片岩で石の性質に基づき平石を水平に積んだものとなっています。戦国時代後期（16世紀中頃から後半）に地域で発展した貴重な遺構です。

往時は山麓からも見渡すことができたようです。石垣の石材は、地山に由来する結晶片岩で石の性質に基づき平石を水平に積んだものとなっています。戦国時代後期（16世紀中頃から後半）に地域で発展した貴重な遺構です。

※ 城郭石垣の呼称については様々な研究があります。ここでは積まれた高さが、3m以上あるため便宜的に石垣の呼称を使用しました。

(ときがわ町教育委員会)



▲ 腰郭石垣正面 (南東より)



▲ 腰郭石垣北側面 (北より)



▲ 腰郭南側面と正面 (南より)